

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
1 世界の人口とその推移	世界の人口が64億人であること、人口は都市や工業の発達した先進国、アジアの稲作地帯に集中し、不均等な分布をしていることを理解する。	<p>1 世界の人口について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在約60億人</li> <li>・1920年と比べると3倍になった。</li> </ul> <p>2 世界の人口分布図を見て話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国、インドネシア、インドなどのアジアに多い。</li> <li>・ヨーロッパやアメリカ東部に多い。</li> <li>・アフリカの北部やオーストラリアの内陸部は少ない。</li> </ul> <p>《単元を貫く課題》</p> <p><b>「人口にかたよりのあるのはどうしてか。」</b></p> <p>3 人口が集中している原因を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア 稲作地帯で労働力が必要だから。</li> <li>・ヨーロッパやアメリカ東部 工業が発達していて働く場所が多い。 農業生産も多い。</li> </ul> <p>4 人口が増え続けている地域では、どんな問題が起きているかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食糧不足。</li> <li>・中国での一人っ子政策。</li> <li>・高齢化社会。</li> </ul>	<p>アー</p> <p>人口にかたよりのある理由を考えようとしている。</p> <p>場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動3</li> <li>・授業後</li> </ul> <p>方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの記述</li> <li>・発言</li> </ul>	<p>「世界の人口の変化」 (世界人口統計年鑑1997版)</p> <p>「世界の人口密度」 (東京書籍)</p> <p>援助</p> <p>「前の単元で習った自然条件や農業・工業の分布とかかわらせて考えてごらん。」などと具体的に助言する。</p>
		世界の人口は約64億人いることがわかった。人口は工業生産、農業生産のために必要なので工業の発達した先進国、アジアの稲作地帯に集中しているんだな。人口が偏ると食糧不足などの問題が起きているけれど、日本はどんなのかな。		
2 世界と日本の人口構成	現在日本の人口ピラミッドはつぼ型で、このまま進めば2025年には少子化や高齢化がさらに進み、高齢者を支える負担が増えたり、労働を外国の方にたよらなければならぬことを理解する。	<p>1 日本の人口ピラミッドはエチオピア(富士山型)アメリカ(つりがね型)スウェーデン(つぼ型)のどれに似ているのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1935年は富士山型、1960年はつりがね型、1998年はつぼ型に似ている。</li> <li>・富士山型、つりがね型、つぼ型に変化してきた。</li> </ul> <p>2 2025年になった時に日本の人口はどうなっているのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の数が少ない。</li> <li>・お年寄りが増え、高齢化社会になっている。</li> </ul> <p><b>少子化や高齢化が進むとどうなるのだろう。</b></p> <p>3 少子化や高齢化が進んだ時の問題点を考え、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・50年前に比べると、高齢者一人を支える人の数が減ってきている。</li> <li>・外国人労働者にたよらなければ製造工場や工事現場で働く人の数が足りない。</li> </ul>	<p>イー</p> <p>少子化や高齢化が進んだ時の問題点を自分の立場で考えている。</p> <p>場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動3</li> <li>・授業後</li> </ul> <p>方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの記述</li> <li>・発言</li> </ul>	<p>「人口ピラミッド」 「人口ピラミッドの変化」 (東京書籍)</p> <p>「人口の動向」 (総務省・統計局)</p> <p>「日本の人口ピラミッドの変化」「少子化を補う外国人労働者」 (浜島書店)</p> <p>援助</p> <p>「自分が35歳だった時に自分の代よりもお年寄りの数が多いとどうかな。」と問いかける。</p>
		現在日本の人口ピラミッドはつぼ型で、このまま進めば2025年には少子化や高齢化がさらに進んでいく。高齢者を少数で支えたり、外国の方にたよらなければならぬ時代がくるのでたいへんだと感じた。		

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
3 かたよる日本の人口分布	日本の総人口は約1億2600万人であることと過密都市のよさと問題点を明らかにする。	<p>1 日本の総人口と人口密度の高い地域はどんな地域かを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の総人口は約1億2600万人。</li> <li>人口は、日本の平野部や盆地に集中している。</li> <li>大都市やその周辺、地方の都市に集中している。</li> </ul> <p><u>過密都市のよさと問題点を何だろ。</u></p> <p>2 過密都市のよさと問題点について考え、交流する。</p> <p>よさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通の便がよい。</li> <li>働く場所や機会が多い。</li> <li>買い物便利である。</li> <li>医療施設が整っている。</li> </ul> <p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラッシュ時の通勤、地価の高騰、用地不足、ヒートアイランド現象</li> </ul> <p>3 問題点を解決する取り組みを調べ、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヒートアイランド現象を解決するために屋上を緑化している。</li> <li>東京都ではディーゼル車をなくそうとしている。</li> </ul>	<p>ウー</p> <p>資料をもとに過密都市のよさと問題点を明らかにしている。</p> <p>場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動2</li> <li>授業後</li> </ul> <p>方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの記述</li> <li>発言</li> </ul>	<p>「日本の人口分布」(東京書籍)</p> <p>「大都市の魅力」(浜島書店)</p> <p>援助 岐阜周辺と比べて考えるように助言する。</p> <p>「大都市の悩み」(浜島書店)</p>
		過密都市では、交通の便、買い物便利、働く場所や機会が多いなどの良さがあるのに対し、土地の値段が高い、用地がない、ヒートアイランド現象などの問題点がありそれを解決しようとしているんだな。		
4 かたよる日本の人口分布	過疎地域では、人口減少に歯止めをかけようと都市との交流人口を増加させたり、近隣の町村でネットワークをつくったり、定住を求める動きをしたりしていることをとらえる。	<p>1 著しく人口が減少している地域を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道、東北地方、中国四国地方、九州地方の中央部の山地に多い。</li> </ul> <p>2 人口が少ない理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工業化にともない、大都市に人口が集中したから。</li> <li>第一次産業が多く、働き場所が少ない。</li> </ul> <p><u>過疎地域では、人口減少に対してどんな取り組みをしているのか。</u></p> <p>3 過疎地域が人口減少に対しどんな取り組みをしているのかを考え交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交流人口の増加 自然の中で都会の子供が学べるようにしている。 カツオ祭りや一本釣りやたたき作りが体験できるようにしている。</li> <li>ネットワークづくり 鳥取、島根、岡山、広島4県の県境に接した16市町が協力し森林文化都市づくりを始めた。</li> <li>島根県弥栄村では、農業に従事する定住者を求める活動をしている。</li> </ul>	<p>エー</p> <p>過疎地域で人口減少の歯止め政策が地域の実情に合わせて行われていることを理解している。</p> <p>場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動3</li> <li>授業後</li> </ul> <p>方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの記述</li> <li>発言</li> </ul>	<p>「過疎地域の分布(過疎対策の現況)」</p> <p>援助 過密地域に人が集まったことと比較したり、関連させたりしながら考えるように助言する。</p> <p>「山村留学」(東京書籍) 「さまざまな地域づくり」(浜島書店)</p>
		過疎地域では、人口減少に歯止めをかけようと都市との交流人口を増加させたり、近隣の町村でネットワークをつくったり、定住を求める動きをしたりしているんだな。		

